

## 北海道地方ダム等管理フォローアップ委員会（第41回）議事要旨

1. 日 時：平成31年2月22日（金）13時00分～14時00分
2. 場 所：北海道開発局札幌開発建設部 4階会議室
3. 出席者：黒木委員長、井上委員、岡村委員、門崎委員、中井委員、森委員
4. 議事要旨  
金山ダム定期報告書（案）の概要について説明を行った。  
各委員からの主な意見は以下のとおりである。

### ●金山ダム定期報告書（案）について

- 1) 事業の概要
  - ・なし。
- 2) 洪水調節
  - ・平成28年8月洪水において、ダムの洪水調節により下流沿川の被害を軽減したものと評価できる。
  - ・平成28年8月洪水において、上流被災箇所での孤立解消を目的とした道路災害の復旧のため、貯水池容量を最大限に活用する防災操作を行ったことは評価できる。
- 3) 利水補給
  - ・なし。
- 4) 堆砂
  - ・なし。
- 5) 水質
  - ・なし。
- 6) 生物
  - ・弾力的管理試験による生物の生息・生育環境の改善について、小放流の実施並びに効果の確認を継続することが望ましい。
  - ・特定外来生物であるオオハンゴンソウについて、防除箇所での再繁茂を防ぐため、生息状況を注視するとともに、効果的な対策方法を検討することが望ましい。
- 7) 水源地域動態
  - ・南富良野町の観光において、金山ダム及びダム貯水池は重要な拠点であると評価できる。地域の観光振興への協力を継続することが望ましい。
  - ・経年的な利用状況の変化を評価する際に、過去の利用実態調査で利用者数が過大評価となっている箇所を修正したうえで、変化を分析することが必要である。
- 8) 景観
  - ・ダム及びダム周辺で統一したサイン整備・景観配慮を実施・継続することが望ましい。
  - 定期報告書については了承された。指摘事項は定期報告書に反映させる。